

現役一流のアナリスト・評論家・IFA等

82名が大予想!

平均株価

2万460円

93銭

# 2015年の 相場大展望

予想平均株価を2万5000円とする声もあるほど、強気ムード漂うのが2015年の東京市場だ。恒例となった新春相場展望には、アナリストや株式・経済評論家、IFAなど現役第一線で活躍中のトッププロ82名に参加いただいた。全員の予想から割り出した、2015年の予想平均株価は高値2万460円93銭、安値が1万5217円37銭となった。2013年が急騰、2014年は本格上昇。そして今年は遂に平均株価2万円突破が待っているかもしれない。背景となる景気見通しは？この大相場で狙うべき銘柄は何か？専門家たちの鋭い視点・分析力こそが、読者諸氏の投資戦術構築の大きなサポートになるはずだ。

# プロ82名の予想平均値がコレだ!!

平均  
株価

高値 **20,460.93円** 最大：25,000円  
最安：18,000円

安値 **15,217.37円** 最大：17,500円  
最安：9,300円

為替  
動向

1ドル **117.96円** 最高：100円  
最安：148円

1ユーロ **143.60円** 最高：100円  
最安：175円

## INDEX

### 予想に参加したプロ達

青木穂高	ライフパートナーズ	小林大純	フィスコ	中山 健	岡安商事
朝倉慶	アセットマネジメントあさくら	小林由二	DZHフィナンシャルリサーチ	二階堂直樹	カブックス
旭昌美	アルゴナビス	斎藤吉行	湘南証券年金プランニング	野間口毅	大和証券
雨宮京子	経済ジャーナリスト	斉藤琢也	日本証券アナリスト協会	檜垣智之	アイ・パートナーズフィナンシャル
石田雄大	だいたく投資ビレッジ	佐藤勝己	フィスコ	東野幸利	DZHフィナンシャルリサーチ
伊月隆弘	フィナンシャルリンクサービス	里見雅也	アイ・パートナーズフィナンシャル	東山一平	東山経済研究所
上原孝志	アイ・パートナーズフィナンシャル	佐原秀満	アイ・パートナーズフィナンシャル	平岡稔光	シェアティブ
江本明弘	徳島証券プランニング	鹿野正之	カネツFX証券	平田 順	のぞみフィナンシャル
大谷正之	証券ジャパン	島先大助	東岳証券	藤井百七郎	株の学校カブックス
小粥大地	岡安商事	清水洋介	アルゴナビス	藤本誠之	SBI証券
越智直樹	フィスコ	志村能和	湘南証券年金プランニング	不動修太郎	国際経済エコノミスト
金井勝夫	株式評論家	白石定之	アドバイザーズ	別府孝男	ノーブル
蕪木 大	シェアティブ	杉村富生	株式評論家	保科雅之	岡三証券
鎌田重俊	立花証券	鈴木智也	茨城大学	前 一明	ファーストメイク・リミテッド
萱沼 晃	湘南証券年金プランニング	鈴木義典	アイ・パートナーズフィナンシャル	馬淵治好	ブーケ・ド・フルーレット
川島洋一	岡安商事	高垣建作	岡安商事	丸山隆之	IFAオフィス丸山・Algo System Labo
河端啓吾	株の学校カブックス	高橋勝徳	湘南証券年金プランニング	村瀬智一	フィスコ
川畑尚諒	岡安商事	高橋陽子	カブックス	本村充彦	湘南証券年金プランニング
河本茂夫	湘南証券年金プランニング	竹内拓也	クラウド	八幡英雄	湘南証券年金プランニング
北浜流一郎	株式評論家	田代昌之	フィスコ	山口哲也	インヴァスト証券
木村文夫	湘南証券年金プランニング	玉置光恵	岡安商事	山下政比呂	フィスコ
木村佳子	生活経済情報研究ビューズ	築澤光彦	湘南証券年金プランニング	山田明弘	だいたく投資ビレッジ
清田秀彦	アイ・パートナーズフィナンシャル	千葉 明	湘南証券年金プランニング	横尾 龍	アドバイザーズ
楠 千弘	DZHフィナンシャルリサーチ	土屋美代志	湘南証券年金プランニング	米山一成	湘南証券年金プランニング
窪田朋一郎	松井証券	露崎達郎	株式評論家	渡邊長氏	湘南証券年金プランニング
倉澤秀一	長野投資相談	中川泰広	サイラタウン	和戸昭人	だいたく投資ビレッジ
小瀬正毅	フィスコ	中島成佳	Noah's planning		
小中 優	フィスコ	中村昭則	湘南証券年金プランニング		

アイウエオ順・敬称略

# 円安・物価高で「実感なき景気回復」へ 輸出・設備投資関連銘柄に注目集まる

平均株価2万円越えと、景気の良い予想が多い。だが、数字を見るだけでは分からないのが2015年の相場と言えそうだ。

米国景気の拡大で、ドル高・円安基調は今後も継続するとの見方が優勢だからだ。輸出関連企業が「回復」から「拡大」へと向かう中で業績伸長が予想されていることはプラス材料だが、国内消費者心理の改善は物価上昇に追いつくことが難しいと多くのプロ達は指摘する。

もちろん、輸出関連企業の設備投資が向上づくりに伴う雇用の拡大や消費改善を期待することもできよう。その点では産業機械を手掛ける**安川電機**（6506）を推す声が多いのも頷ける。

企業も個人消費も二極化が進んでいくことが予想される。物価上昇や、経済指標にインパクトの大きい企業群の収益改善が進むことで賃金改善期待も高ま

り、見かけ上はデフレ脱却が進捗することになるのかもしれない。為替動向ありきの状態ではなく、第3の矢である「成長戦略」の実現が景気全体を押し上げていく上での大きなテーマになりそうだ。

## 金融・不動産株は期待できる 日銀の買いが需給面で追い風

大和証券の株式ストラテジスト・野間口毅氏は平均株価の高値を2万1500円と見ている。円安継続と今年度補正予算の編成、来春の春闘でのベア実現を材料視したためだ。外需株の値上がりはもとより、金融緩和を背景とした不動産・金融株の上昇も予想している。同氏が注目銘柄に挙げているのが**三井不動産**（8801）、**三菱UFJフィナンシャル・グループ**（8306）など。他にも建設株に注目するプロ

は多い。アセットマネジメントあさくらの朝倉慶氏も、**三井住友建設**（1821）を注目銘柄に上げている。

フィスコの越智直樹氏は**三菱地所**（8802）、同・田代昌之氏は**大成建設**（1801）、岡安商事の中山健氏は**野村不動産ホールディングス**（3231）、**長谷工コーポレーション**（1808）を推す。

## 2015年も活況呈する IPO銘柄とロボット関連

注目株ランキングで躍進したのが3位に食い込んだ**サイバーダイナ**（7779）だ。同社は2014年3月に新規上場したロボットベンチャーで、着用型のロボットスーツ「HAL」を手掛ける企業。既に介護現場での利用がはじまっており、今後は建設現場での利用拡大が見込まれている。



立花証券の企業調査部長・鎌田重敏氏はサイバーダイナを注目銘柄のひとつに挙げている。今期は増収ながら赤字予想。大きな将来性を感じさせるが、今後の飛躍ぶりに注目しておきたい。

新規株式上場ラッシュはさらに加速する見通しだ。11月27日に株式上場した**CRI・ミドルウェア**（3698）は公募価格2400円に対し、ようやく12月2日に付いた初値は1万3500円だった。騰落率はなんと462・5%。2015年もこうしたルーキー銘柄の話題には事欠かなそうだ。

## 必要不可欠な資源に再注目



フィスコ  
**小瀬正毅**

部署 情報配信部  
役職 為替・金利担当

注目銘柄	国際石油開発帝石	1605
	日本海洋掘削	1662
	石油資源開発	1663
	K&Oエナジーグループ	1963
	JXホールディングス	5020

平均株価 高値 19,000円 安値 14,000円

為替動向 1ドル 高値 108円 安値 122円  
1ユーロ 高値 128円 安値 148円

### 経済・景気見通し

消費税率を8%に引き上げた影響は2015年も残ることが予想されるだけに、景況感が大幅に改善することは期待できそうもありません。円安進行によって実質賃金の低下が予想されていることから、個人消費は厳しい状況が続くことになりそうです。

### 株式相場の見通し

投資家はGPIFの神通力を信じており、株式に大量の資金が流れ込めば、経済状態に関係なく、株高になるでしょう。リスク要因は国内政治。総選挙の結果次第では安倍政権退陣も。その場合、株価は一時的に大きく下落する可能性があります。

## 成長戦略の実行力が試される1年に



フィスコ  
**越智直樹**

部署 情報配信部  
役職 株式アナリスト

注目銘柄	丸紅	8002
	JACリクルートメント	2124
	ジャフコ	8595
	三菱地所	8802
	クラウドワークス	3900

平均株価 高値 20,000円 安値 14,000円

為替動向 1ドル 高値 110円 安値 140円  
1ユーロ 高値 130円 安値 170円

### 経済・景気見通し

米の金融緩和終了と欧・中・日の拡大で、ドル高と新興国からの資金引き揚げが顕著になり、今後の日本は円安・物価高の抑制施策と成長戦略の実行力が焦点になろう。賃金への波及が限定的となれば、状況次第でスタグフレーションの懸念が再度叫ばれる可能性も。

### 株式相場の見通し

世界的なドル高基調を受けて日本の株高は継続の見通し。ただし過度かつ急激な円安は逆効果にも。成長戦略に進展があれば、雇用、農業、電力、医療、証券、小売、観光に恩恵。物価高の継続で不動産は引き続き潤う。人材不足を解決する事業にも注目が集まろう。

## 成長戦略への信認獲得がカギに



フィスコ  
**小林大純**

部署 情報配信部  
役職 株式アナリスト

注目銘柄	ユーグレナ	2931
	鳥貴族	3193
	鉦研工業	6297
	スリー・ディー・マトリックス	7777
	サイバーダイナ	7779

平均株価 高値 18,500円 安値 14,000円

為替動向 1ドル 高値 105円 安値 125円  
1ユーロ 高値 130円 安値 155円

### 経済・景気見通し

都市部の一般家庭では将来負担増への懸念が根強く、消費は総じて低迷が続くと予想。通常国会では消費促進策が導入される公算があるが、効果は一過的か。消費者層の分化も進み、対応を迫られる企業側では優勝劣敗がより鮮明になるとみる。

### 株式相場の見通し

株価重視の政権姿勢が下支え役として機能するが、07年高値1万8300円突破には成長戦略に対する市場の強い信認が必要。インフラ、医療などの成長戦略分野、資本効率重視へ戦略転換する大企業、「娯楽」「健康」といった目的型消費の開拓に成功する企業に注目。

## 日経平均は20,000円の大台へ



フィスコ  
**小中 優**

部署 情報配信部  
役職 株式アナリスト

注目銘柄	九電工	1959
	エス・エム・エス	2175
	東洋電機製造	6505
	日本セラミック	6929
	グロープライド	7990

平均株価 高値 20,000円 安値 14,000円

為替動向 1ドル 高値 105円 安値 125円  
1ユーロ 高値 135円 安値 160円

### 経済・景気見通し

円安による輸入コスト高も原油価格の下落によるメリットがある程度下支える公算。消費増税による影響も一巡することが見込まれ、消費マインドも徐々に改善しよう。円安による製造業の国内回帰、訪日外国人数の増加傾向も国内経済にとってプラスに働く。

### 株式相場の見通し

米FRBの利上げが波乱要因となるが、日米金融政策の乖離による円安基調継続が見込まれることから、下を売り込む流れにはなりづらい。GPIFの国内株式運用比率の引き上げもサポートに、07年高値18,300円突破後は20,000円の大台を目指す。

## 安倍長期政権は吉凶どちらか？



フィスコ

**田代昌之**

部署 情報配信部

役職 先物OPアナリスト

注目銘柄	7&iホールディングス	3382
	大成建設	1801
	日本M&Aセンター	2127
	渋沢倉庫	9304
	昭和シェル	5002

平均株価 高値 20,000円 安値 15,000円

為替動向 1ドル 高値 110円 安値 125円  
1ユーロ 高値 125円 安値 155円

### 経済・景気見通し

景気刺激策実施で3期連続でのGDP前期比マイナスは回避されそうだが、官僚をコントロールできないことで成長戦略は失望感が先行へ。経済情勢が中途半端のなか憲法改正などに着手すると自民党総裁選挙では波乱となる可能性も。まずは経済の立て直しを最優先としないと頼みの海外投資家が離れてしまう。

### 株式相場の見通し

安倍長期政権を材料視した買いで3月辺りに日本株はピークを迎えると想定。為替もその辺りが高値と見る。その後は米国の利上げ及び欧州経済失速が明確化することに伴う欧州経済危機でマネーの流れが一変する。日本の財政面への警鐘を含め本当の円売りが始まる可能性も。

## アベノミクス相場も転機を迎える



フィスコ

**佐藤勝己**

部署 情報配信部

注目銘柄	住友商事	8053
	丸紅	8002
	ベネッセ	9783
	ヤマトホールディングス	9064
	セコム	9735

平均株価 高値 18,500円 安値 13,000円

為替動向 1ドル 高値 105円 安値 125円  
1ユーロ 高値 130円 安値 155円

### 経済・景気見通し

株高効果が一部には強まるものの、全般的には将来不安から消費の抑制傾向は継続の見通し。一方、設備投資は円安による製造業の国内回帰から堅調に推移しよう。消費増税の影響が長引いた2014年比較では改善が見込めるものの、想定以上にその幅は限定的に。

### 株式相場の見通し

量的緩和策縮小の影響で、米国株式市場の調整が強まる可能性は高い。外国人投資家の動向に左右されやすい日本株にもネガティブな影響が波及しよう。国内要因では、進まない成長戦略の進展如何にかかわるが、需給要因を中心に大方は好材料が出尽くしている状況。

## 安倍トレード第2幕



フィスコ

**山下政比呂**

部署 情報配信部

役職 為替アナリスト

注目銘柄	トヨタ自動車	7203
	三菱地所	8802
	オリエン特	8585
	オリックス	8591
	ソフトバンク	9984

平均株価 高値 22,000円 安値 15,000円

為替動向 1ドル 高値 105円 安値 125円  
1ユーロ 高値 130円 安値 155円

### 経済・景気見通し

安倍政権が長期政権となることで、安倍トレード(日本株買い・円売り)第2幕の継続が想定される。消費増税が2017年4月まで延期されたこと、景気対策の発動、原油価格の下落を受けて、緩やかな景気回復軌道が見込まれる。

### 株式相場の見通し

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)による株式投資増額、黒田日銀総裁による追加緩和観測から、安倍トレード(日本株買い・円売り)第2幕が期待出来る。リスク要因は、地政学的リスク(中東・ウクライナ)、及びロシアのデフォルト(債務不履行)懸念か。

## アベノミクス再起動



フィスコ

**村瀬智一**

部署 情報配信部

役職 部長

注目銘柄	テックファーム	3625
	ショーボンド建設	1414
	ウィルゲープ	6089
	AOI Pro.	9607
	サン電子	6736

平均株価 高値 22,000円 安値 17,000円

為替動向 1ドル 高値 105円 安値 130円  
1ユーロ 高値 130円 安値 160円

### 経済・景気見通し

安倍政権が長期政権となることで、アベノミクスが再度加速。消費増税が延期されたことで、実質総賃金の伸びがプラスに転じ、民間消費が回復ペースを速める可能性。景気対策が示され、設備投資と輸出の緩やかな増加が見込まれる。

### 株式相場の見通し

日銀による追加緩和政策のほか、GPIF改革を背景とした年金資金流入が相場を牽引。企業の高ROE政策継続。増税が延期されたことや賃金上昇による消費関連の回復。水素など新エネルギーなども注目。